



「熱戦のサッカー大会」

2月17日(日)青少年育成鷺宮地区委員会主催
29チーム356人という多数の参加がありました。鷺宮
高校サッカー部1年生11人も審判として大活躍。

平成 25 年
(2013 年)

3/1

編集・発行 鷺宮区民活動センター運営委員会

〒165-0032 中野区鷺宮3丁目22番5号 電話3330-4127

FAX3330-4131

【題字は長谷川昂氏】

【E-mail】nakano_saginomiya@nifty.com

【URL】http://www.nakano-saginomiya.gr.jp/

鷺宮

No. 323

地域ニュース

被害状況

- ◆平成24年 警視庁管内
 - ・被害件数 2274件(23年 1696件)
 - ・被害金額 約81億円(23年 約47億円)
- ◆平成24年 野方警察署管内
 - ・被害件数 42件(23年 19件)
 - ・被害金額 約1億5100万円
(23年 約5000万円)
- ◆平成25年2月20日現在 野方警察書管内
 - ・被害件数 6件
 - ・被害金額 約1,100万円



手口の実例

【例1】息子のふりをした男から「不倫をして、子どもができてしまった。慰謝料や示談金でお金が必要。すぐ振り込んでほしい」と電話があり、言われるまま銀行で振り込んでしまった。さらに翌日同じ男から「弁護士費用を支払うために、消費者金融から借金をした。もう一度振り込んでほしい」といわれ、また振り込み、合計200万円の被害に遭った。

【例2】区役所福祉課の職員を名乗る男から電話があり、「医療費の還付がある。今日までなので、携帯電話とキャッシュカードを持ってATMに行つてほしい」といわれた。「差額があるのかな」と思い、疑うことなく無人ATMに行き、携

多発! 危険
あなたもだまされる!!
振り込み詐欺にご用心!

自分はまだまされない、と思っている方でまだまされてしまつています。大切な財産を守るためにどうすればいいか、野方警察署生活安全課職員の方にうかがいました。

携帯電話の指示に従い操作し、男の口座に2回に分け合計150万円を振り込んでしまった。
※次々に新しい手口が現れます。注意してください。

信じないで!!

- ◆〇〇(名前)だけど...オレオレではなく、息子や孫の本当の名前を使う。
- ◆風邪をひいた...声が遠うことの言い訳。
- ◆携帯が壊れ番号が変わった...本当の息子と連絡させない。
- ◆不倫相手の妊娠、靴の紛失...他人に相談できない心理にする。
- ◆医療費、保険金等が戻る...ATMでお金が戻ることはない。
- ◆非通知の電話にご注意...電話番号を残さないため。
- ◆無人ATMやコンビニATMに行けと言われた...金融機関職員にチェックされないため。

被害の実態

【被害者の実態】

- ・約8割は女性。
- ・約5割は70歳代。
- ・約7割が夫婦一人または一人暮らし。

自分は大丈夫だと思つていた方は9割以上。
【犯人がなりすました息子の実態】

- ・息子の年齢は30〜40歳代で会社社員が多い。地位が上がっている年代。ちよつとのお金で何とかなるなら助けてあげよう、という心理につけこむ。

大切な財産! 家族で守りましょう



※振り込みめという指示ではなく、直接受け取りに来ることもあるが、強盗に変わる可能性もあるので、危険。
※コインロッカーに現金を入れさせるケースも増えている。

普段の対策

【息子から親へ】短い時間で簡単な内容でもいいから、毎日電話をしていると、怪しい電話にだまされにくくなる。子どもの声を聞くことにより、親

野方警察署では、管内の全金融機関とタイアップし振り込み詐欺撲滅のために、高額でなくても、変だと思ったら注意してください。お願ひしている。詐欺ではないと思つていて、銀行員が説得し、被害を未然に防いだこともある。

野方署では...

だまされないために

被害がなくても 不審な電話は 110番

※電話協力だけでもいいので、時間はかかりません。
※情報を分析する上で役立ちます。
※犯人像が見えてきます。



ぜひご協力ください



【電話帳(ハローページ)】親の電話が掲載されている場合は16番に電話して、削除してもらおう。
【常に留守番電話にしておく】犯人は留守番電話の場合、打ち切る傾向がある。直接犯人と話さずにする。
【相談者を決めておく】気軽に話せる相談者を、普段から決めておく。電話の相手がお金の話をしたら、まず相談者に連絡する。日頃から、コミュニケーションしておくとうい。

◆怪しい電話があった時には、あわてず落ち着いて対応する。
◆息子本人と連絡を取ってみる。
◆怪しいと思つたら110番に遠慮しないで電話する。
◆電話の話し方が丁寧で詐欺とは思えないこともあるので、気を付ける。

感動のゴールド金賞
榎本 京子



「中野区立第八中学校、ゴールド金賞!」静まり返つた府中の森どりーむホールに響いた発表の瞬間。吹奏楽部33名は思いもよらなかった嬉しすぎる結果に号泣し、飛び上がりました。「何か新しいことに挑戦しよう。昨年より一歩前に進もう!!」この合言葉が出場を決めた理由でした。でも、コンクールとはどういふものか想像がつかず「ともかく精一杯努力していい演奏をしよう」ということを目標としました。思い起こすと、この8月7日はハブニングの連続でした。これまで3年間皆勤だった3年生が高熱で欠席、電車の中で倒れ東府中駅の医務室に運ばれる2年生、運搬してもらつた楽器の破損、などいたたまれない状況に、涙・涙・涙そしてまた涙。会場では、他の学校の演奏のうまさに顔が引きつり、驚きと恐怖が...

しかしチューニングを終え待機の時には全員で演奏曲を歌い、舞台上着席すると目は輝き、にこつと微笑む姿に生徒以上に緊張していた私が助けられました。演奏後の一人一人の満面の笑み、今でも浮かんできます。

吹奏楽部は、保護者の皆さまや地域の方の温かい応援をいただき活動できることに心から感謝しています。これからも気持ちも合せて、演奏ができるようにがんばっていきなうと思います。

(第八中学校教諭・吹奏楽部顧問)

